

今後の学校教育がめざす姿

— 次代につながる「世界」を構築する力 —



基本理念

予測困難な時代においても、子どもたちが自己実現を目指し、自らが望む未来を形にできる力を育みます。

多様な人々の中で共に生き、持続可能な社会を次代に引き継いでいく創造的な人材の育成を目標とします。



めざす人間像(5つの柱)

1. 生涯学習者

生涯にわたって自己実現に向け、変化に対応し学び続けられる人。

2. 社会貢献者

持続可能な社会の発展に積極的に貢献する人。

3. 主体的行動者

主体性を持ち、自律的に考え行動できる人。

4. 協調と共生

協調性と優れたコミュニケーション能力を持つ人。

5. 創造と革新

多様性を尊重し、イノベーションを生み出す創造力と革新性を備えた人。



育み培う心、力、態度

- 主体的に心身の健康を整え、家族や友人・ふるさとを愛する豊かな人間性。
- 知識と教養を身に付け、個性や能力を磨き続ける真理を求める姿勢。
- **多様性を尊重し、コラボレーションを図りながら、
望ましい未来を築き上げる力。**
- 伝統と文化を尊重し、共生の心で国際社会に貢献する態度。

教育の3本柱と連携強化

—「知・徳・体」のバランス育成と地域連携—

施策の方針：生きる力を支える3つの柱

1. 確かな学力の確立と教育DXの推進

- 個別最適な学びと協調的な学びの充実。
- **Society 5.0**対応の情報活用能力(情報モラル含む)の育成。
- 1人1台端末を活用した教育**DX**の実現。
- 「英語が話せるすもとっ子」育成に向けた国際理解教育の推進。

2. 体験活動を核とした豊かな心の育成

- 郷土の自然を活かした「環境体験活動」や「自然学校」の実施。
- 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」を通じた社会性・主体性の育成。
- いじめ・不登校への組織的・専門的な支援体制(SSW等)の構築。

3. 健やかな体の育成と運動習慣づくり

- 主体的な体力向上を図る「一校一運動」の充実。
- 幼児期から中学校までを見通した発達段階に合わせた多様な**運動習慣**の形成。
- 校園間の連携を強化し、継続的な運動を促す。

家庭・地域・教職員との連携強化

家庭教育の推進

PTA等との協働による家庭教育の支援と、学校・家庭間の情報共有を強化**。

地域で育てる環境づくり

コミュニティ・スクール化による地域人材の参画促進と、中学校部活動の地域移行。

教職員の資質向上

体系的な研修の充実と、ワーク・ライフ・バランスを考慮した働き方改革を推進。

未来を担う子どもたちのために、学校、家庭、地域、行政が一体となって取り組みます。